

平成29年度 自治調査会複数年調査  
スポーツを活用した地域活性化に関する  
調査研究報告書  
(ケーススタディ：立川市・国分寺市)

平成30年 3月

公益財団法人 東京市町村自治調査会



## はじめに 複数年調査とは

東京市町村自治調査会は、東京都内全市町村(多摩・島しょ地域)の総意により設立された行政シンクタンクである。毎年、多摩・島しょ地域の広域的、共通の行財政課題等に関する様々なテーマを選定して調査研究を実施している。

通常の調査研究テーマは単年度で完結する調査となるが、例外として同じテーマを複数年にわたりさらに調査研究するものを複数年調査と呼んでいる。現在、複数年調査は2年間の調査期間としており、初年度の1年目調査と、2年目調査を合わせた総称となっている。

複数年調査の1年目調査は、単年度で実施する他の調査研究と基本的に同様の調査手法で行い、一旦完結させる。2年目調査はこの1年目調査結果を活用し、ポイントを絞り込んださらなる調査を実施するものである。なお、総称である複数年調査の年度呼称は2年目調査の開始年度を適用している。

実施に関しては、多摩・島しょ地域全市町村の企画担当課長で組織する東京都市町村企画研究会と連携し、平成28年度の試行実施を経て、平成29年度から本格実施となった。

## <目次>

はじめに	複数年調査とは	1
<b>第1章</b>	<b>平成29年度複数年調査の概要</b>	<b>5</b>
1.	平成29年度複数年調査	6
2.	背景・目的	6
3.	調査の方法・対象	7
<b>第2章</b>	<b>スポーツを活用したまちづくり</b>	<b>9</b>
1.	なぜ「スポーツ」なのか	10
(1)	スポーツの効用	10
(2)	スポーツ活用の方法	11
2.	スポーツコミッションの考え方	13
(1)	スポーツコミッションの定義	13
(2)	スポーツコミッションの方向性	15
<b>第3章</b>	<b>調査結果</b>	<b>17</b>
1.	モデル自治体の選定	18
2.	立川市	19
(1)	立川市の選定に当たって	20
(2)	立川市のスポーツ等の状況	22
(3)	調査結果(ヒアリング調査)	26
(4)	調査結果(検討会)	48
(5)	立川市におけるスポーツコミッションの方向性	57
3.	国分寺市	63
(1)	国分寺市の選定に当たって	64
(2)	国分寺市のスポーツ等の状況	66
(3)	調査結果(ヒアリング調査)	71
(4)	調査結果(検討会)	94
(5)	国分寺市におけるスポーツコミッションの方向性	102
4.	総括	108
<b>参考資料</b>		<b>109</b>

# 本報告書の読み方

本報告書は立川市と国分寺市のケーススタディ結果を報告しており、ページ数は100ページを超える。全てのページを読むことが難しい場合、次のとおり読み進めることを推奨する。

第1章は平成29年度複数年調査の概要、第2章はスポーツの効用とスポーツコミッションの定義などについて述べている。ここまですら簡単に、スポーツコミッションの定義を確認することとなる。

第3章で確認すべき箇所は、立川市に関しては「2(3)調査結果(ヒアリング調査)」、「2(5)立川市におけるスポーツコミッションの方向性」、国分寺市に関しては「3(3)調査結果(ヒアリング調査)」、「3(5)国分寺市におけるスポーツコミッションの方向性」である。

立川市、国分寺市の調査結果は「2(5)立川市におけるスポーツコミッションの方向性」、「3(5)国分寺市におけるスポーツコミッションの方向性」を読むことで概ね確認できる。詳細な調査結果を確認する場合は、「調査結果(ヒアリング調査)」を読み進めることとなるが、当該部分はページ数が特に多く、そのため、各ヒアリング調査対象団体の冒頭に記載している「総評」を読めばポイントが理解できる形となっている。また、「今後を見据えた組織の課題・展望(ヒアリング先からの声)」も参考となるため、時間が許せば優先的に確認することを推奨する。

最後に、第3章4を確認し、ここまでの流れをもって調査結果のポイントが理解できる構成となっている。

